

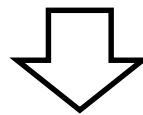
H30年度 第二次長野市環境基本計画後期計画の 取組結果及びR元年度指標・目標値等の設定について

環境部 環境保全温暖化対策課

長野市環境マネジメントシステム(NEMS)による取り組み

環境負荷の低減を図り、環境に配慮した事務事業の実施を推進する
同システムにより、次の取り組みを行っている。

- ① 第二次長野市環境基本計画後期計画の進行管理
- ② エネルギー使用量の一元的把握
- ③ 環境監査の実施
- ④ PDCAサイクルによる次年度への取り組みの反映 など



第二次長野市環境基本計画後期計画の計画期間の取組
結果を報告するとともに、令和元年度の指標・目標値を
設定するもの。

第二次長野市環境基本計画後期計画の取組結果について

基本目標	平成30年度の 取組結果	主な未達成項目
	目標値の設定数 22 達成 14 未達成 8	
①循環型社会の実現	4指標中、達成3	マイバッグ持参率
②良好な生活環境の保全	4指標中、達成3	ポイ捨て吸殻本数
③豊かな自然環境の保全	4指標中、達成1	豊かな自然が保たれている (アンケート指標)
④豊かで快適な環境の創造	3指標中、達成2	景観やまちなみが美しい地域である (アンケート指標)
⑤低炭素社会の実現	5指標中、達成3	温室効果ガス年間排出量
⑥市民・事業者・行政の 連携強化と人づくりの推進	2指標中、達成2	なし

令和元年度の指標・目標値について

3

☆新たな指標・目標値の設定

指標		実績値 (H30)	目標値 (R元)	計画目標値 (R3)
基本目標 1 循環型社会の実現				
ごみの総排出量	↘	125,811t	125,811t	124,724t
市民の一人 1日当たりのごみ排出量	↘	420g/人・日	418g/人・日	411g/人・日
事業系ごみ年間排出量	↘	39,115t	39,115t	39,757t
マイバック持参率	↗	67.5%	75.0%	80.0%
基本目標 2 良好な生活環境の保全				
大気環境基準達成項目数	→	15項目	15項目	15項目
市内中小河川13河川のBOD平均率	→	1.6 mg/ℓ 以下	2.0mg/ℓ 以下	2.0 mg/ℓ 以下
地区環境美化活動のごみ回収量	↘	16,574kg	21,500kg	21,500kg
ポイ捨て吸い殻本数 (月平均本数：長野大通り10か所)	↘	117本	70本	70本
基本目標 3 豊かな自然環境の保全				
豊かな自然が保たれている	↗	69.1%	71.6%	73.6%以上
間伐面積（累積面積）	↗	7,636ha	7,971ha	9,500ha
森林体験参加者数（年間人数）	→	2,167人	2,150人	2,150人
エコファーマーの認定者数	↗	488人	500人	1,089人

令和元年度の指標・目標値について

4

☆新たな指標・目標値の設定

指標		実績値 (H30)	目標値 (R元)	計画目標値 (R3)
基本目標4 豊かで快適な環境の創造				
市民一人当たりの都市公園面積	↗	7.73㎡	7.75㎡	9.19㎡
市内中小河川9河川の水質階級	→	9点	11点	11点
景観や町並みが美しい地域である	↗	54.8%	60.2%以上	62.2%以上
基本目標5 低炭素社会の実現				
温室効果ガス年間排出量	↘	2,230,348t-CO2 (H27)	1,910,700t-CO2	1,878,400t-CO2
市民一人一日当たりの温室効果ガス排出量	↘	16.18kg-CO2 (H27)	14.18kg-CO2	14.08kg-CO2
太陽光発電設備規模(累計)	↗	127,669kW (H29)	140,000kW	160,000kW
木質バイオマス燃料需要量の推計値 (灯油換算(ℓ))	↗	292,795ℓ	292,795ℓ	330,000ℓ
再生可能エネルギーによる電力自給率 (発電設備容量)	↗	49.5% (H29)	54.0%	60.0%
基本目標6 市民・事業者・行政の連携強化と人づくりの推進				
環境保全活動参加者数	↗	4,842人	4,842人	4,700人
環境学習会年間参加者数	→	7,222人	5,200人	5,200人

市役所における平成30年度環境に配慮した主な取り組み

1 長野市環境マネジメントシステム(NEMS)の見直し

環境法令等の一覧の作成において、各所属で概ね適正に整備されており、環境監査においても、適正な事業が行われ、近年の環境監査で指摘事項が少ないことから、環境影響度に応じた監査体制に見直しを行った。

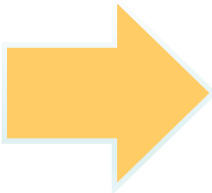
(1) 環境法令等の一覧の作成

毎年提出 → **変更があった場合のみ提出**

(2) 環境監査

- ① 監査対象部局等单位 → **所属等单位**
- ② 環境影響度に応じた頻度の見直し

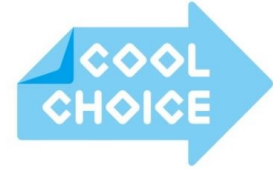
影響度		分類	見直し前	見直し後
環境法 規制	事務 事業			
大	大	A	毎年	隔年 3年に1回 必要に応じて
小	大	B	隔年	
小	小	C	3年に1回	



市役所における平成30年度環境に配慮した主な取り組み

2 環境にやさしい取り組みチェックリスト「C3リスト120」の取り組み

- 市有施設のエネルギー使用の削減
- 庁用車エネルギー使用の削減
- レジ袋使用の削減



未来の
ために、
いま選ぼう。

上記3項目を重点目標とし、全庁ネットワークPCの起動時画面での周知・啓発、エコドライブ研修及び体験会、市役所庁舎内売店のレジ袋使用削減の啓発等の取り組みを行った。

3 環境監査時の聞き取り・周知

環境に配慮した取り組みを集約し、全庁に周知した。

監査で評価された取組事例	
職員一人一人の取り組み	
職員のエレベーター利用の自粛	
アイドリングストップ・エコドライブ・自転車利用の推奨	
所属での取り組み	
不要な照明の消灯・間引き	
ごみの分別・削減	
施設での取り組み	
空調使用の抑制	
LED照明器具の導入	

平成30年度市有施設のエネルギー使用量

長野市役所も一事業所として削減に努めなければならない。

種類別	H30 使用量	H30原油 換算量 (kℓ)	H29原油 換算量 (kℓ)	前年度比(kℓ) " (%)	割合 (%)	主な増減の理由
電気	82,708 MWh	21,275	21,289	△14 (△0.1%)	72%	サンマリンながのの通年稼働による増 ボブスレー・リュージュパークの製氷休止、 各施設での空調利用等の抑制による減
都市ガス	4,152,355 m ³	4,617	4,179	438 (+10.5%)	16%	サンマリンながのの通年稼働による増
プロパン ガス	155,833 m ³	407	418	△11 (△2.6%)	2%	プール施設等における温水器使用の減
ガソリン	426 Kℓ	381	394	△14 (△3.3%)	1%	ボブスレー・リュージュパーク内での送迎回 数、庁用車の低燃費車への入れ替えによる 減
灯油	2,349 Kℓ	2,224	2,363	△140 (△5.9%)	7%	各市有施設での暖房利用の抑制による減
軽油	185 Kℓ	180	249	△69 (△27.7%)	1%	スキー場での圧雪車の使用、下水道汚泥の 処理施設(アクアパル)への運搬回数の減
A重油	392 Kℓ	396	369	26 (+7.3%)	1%	購入時期による増
合計		29,478	29,262	216 (+0.7%)	100%	

平成30年度長野市役所温室効果ガス排出量

種類別	H30CO2排出量 (CO2換算・t)	H29CO2排出量 (CO2換算・t)	前年度比(CO2換算・t) " (%)	割合(%)
エネルギー起源	57,038	54,673	2,365 (+4.3%)	81%
非エネルギー起源	13,193	31,752	△18,599 (△58.4%)	19%
合計	70,231	86,425	△16,194 (△18.7%)	100%

※エネルギー起源：燃料の燃焼で発生・排出される二酸化炭素
 非エネルギー起源：燃料の焼却以外(ごみの焼却を含む)の要因で
 発生・排出される二酸化炭素

清掃センターから
 ながの環境エネルギー
 センターに移行

【参考】 3.1%の増加の理由

H28年度からの電力自由化に伴い、複数の事業者から電力購入が可能となり、前年度よりも石炭火力を中心とした安価な電力会社に切り替えた施設が増加したことにより、CO2排出量も増加した。

CO2 排出量 + 2,365 t -CO2
比 較 + 4.3 %

マネジメントレビュー

記録作成 令和元年6月24日

- 第二次長野市環境基本計画後期計画について、目標値が未達成となった指標を中心に目標を達成するよう効果的な取り組みと監視項目の工夫、改善を図り、引き続き遅れがないよう努めること。
- エアコン等の空調設備の導入に伴い、エネルギー使用量の増加が予想されることから、省エネ行動の徹底や効率的な事務事業の推進を図りエネルギー使用量を可能な限り抑制すること。
- 引き続き、各所属において、関係法令等の確認を行うとともに遵守すること。

署名 加藤 久雄